

そこが聞きたい!! 一般質問

一般質問のようすは、インターネットで配信をしています。2次元コードから、該当議員の動画へアクセスできます。(パソコンやスマートフォンで視聴できます。閲覧可能期間は2年間です)

一般質問は、議員が市政全般について、自由なテーマで市長に質問・政策提言を行うもので、市民の声を市政に届けるものです。9月定例会では、18名の議員が一般質問を行いました。ここでは、質問と答弁の一部をご紹介します。なお、質問の内容は、質問した議員が作成しています。【インターネット録画配信もご覧ください】

茶の花号、運行経費の8割は国の特別交付税 運行数増を! 猪股 嘉直 (日本共産党)



録画配信の
2次元コード

◆茶の花号の市役所停車バス、ゼロでいいの?

- ①茶の花号の運行経費に国からの支出は。
- ②水富循環コースと入間市バスが入間野田モールで連絡するが、待ち時間は。
- ③市役所に停車するバスがなくなるがいいのか。

市民部長 ①市の公共交通施策に係る予算は、市内循環バス茶の花号の運行補償料である。これに対する国の交付金はないが、特別な財政需要として経費の80%程度が特別交付税として算定される。
②狭山市駅西口から入間市駅方面に向かう場合、入間野田モールに茶の花号が10時21分に到着した後に入間市バスが11時に出発するなど、両市のバスは一定の接続が図られている。

③地域公共交通会議で、狭山市駅入口交差点から狭山市役所までの区間の廃止について、意見があったことから、2か月間、乗降客数調査を実施した。市役所での降車人数は、1日当たり0.39人、乗車人数は1日当たり1.07人であった。乗降客数が極めて少ないことから、地域公共交通会議で廃止することが合意された。



茶の花号の市役所停車がなくなる

その他のテーマ▶ オスプレイ横田配備に抗議を ▶ 教科書採択会議の宣伝を

若者の皆さん、来年の選挙の投票立会人に応募しませんか 三浦 和也 (創政会)



録画配信の
2次元コード

◆選挙公報・投票立会人について

- ①若者に選挙を身近に感じてもらうために、18歳から20歳代の方々の投票立会人を募集する取り組みを提言するが、見解は。
 - ②選挙公報の市内の鉄道駅4か所への配置と、公式モバイルサイトへの掲載をしてほしい。
- 選挙管理委員長** ①平成28年の参議院選挙で期日前投票は18歳から20歳代の立会人の公募を試

み8人を選任している。今後の各選挙も若い方を対象に立会人の公募を実施していきたいと考えている。
②近隣市で同じ鉄道事業者の駅構内に選挙公報を配置している事例があり、今後、市内の駅構内への配置に向け鉄道事業者と協議していきたいと考えている。
公式モバイルサイトへの選挙公報の掲載は、PDF形式などで掲載できるように関係部署と調整をしていきたい。

◆広報さやまについて

自治会未加入世帯へ広報さやまの配布方法は。
総合政策部長 自治会のない地域や集合住宅などで、10世帯以上がまとまっている場所であれば、その代表者に配布している。
特に、管理人が常駐する集合住宅は、居住者全員に広報さやまを配布しているケースが多い状況である。



新狭山小への投票所変更には反対、再考を強く要望 金子 広和 (創造)



録画配信の
2次元コード

◆第7投票区(旧東中学校)の投票所変更

- ①第7投票区の選挙人名簿登録者数は、中央1・2丁目に集中しているが、距離が遠くなる新狭山小学校にすることで投票率への影響は。
- ②他の投票区のように、旧東中学校近くの特別養護老人ホームや保育園を投票所にできるか。
- ③旧東中学校体育館は平成32年度末までの除却



中央地区の投票率低下を危惧する

計画であり、31年度の各選挙期間中に、同体育館の使用が可能な場合には、これまでと同様に投票所とするのか。
選挙管理委員長 ①投票率は、各候補者が掲げる政策や、選挙の種類、投票日の天気など、さまざまな要因が影響するものと考えられる。投票所の変更が投票率にどのように影響するか、端的には言えない。
②これらの施設も、新たな投票所として検討したが、投票スペースの確保が難しいことや敷地内に急な傾斜があることなどから、投票所としての使用は難しいとの結論に至った。
③31年4月から8月にかけて、5種類の選挙が予定されているが、旧東中学校の体育館は、30年度秋から解体工事の設計業務を開始するため、建物について所要の調査が行われる。こうしたことから31年4月から8月の選挙で、投票所として使用することはできない。

その他のテーマ▶ 東中学校跡地への工場立地と狭山市総合計画との整合性

暑かった夏、熱中症への予防対策を! 大沢 えみ子 (日本共産党)



録画配信の
2次元コード

◆暑さ指数(WBGT)の活用について

- ①平成30年4月から直近までの市内の熱中症による搬送件数は。
- ②暑さ指数(WBGT)を計測できる機器を購入して予防を行うべきでは。
- ③老人福祉センターなどをクールスポットとし

気温(参考)	暑さ指数(WBGT)	熱中症予防運動指針
35℃以上	31℃以上	運動は原則中止
31~35℃	28~31℃	厳重警戒(激しい運動は中止)
28~31℃	25~28℃	警戒(積極的に休息)
24~28℃	21~25℃	注意(積極的に水分補給)
24℃未満	21℃未満	ほぼ安全(適宜水分補給)

暑さ指数(WBGT)による運動指針(日本体育協会「スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック」(2013)より)

て市民に周知する考えは。
長寿健康部長 ①30年4月から9月10日までの年代別の搬送人数は、65歳以上の高齢者が55人、7歳から18歳までの児童生徒が12人、7歳未満の乳幼児が1人となっている。また、全体では108人であり、29年の同日までの搬送人数は全体で81人だったので、前年と比べて27人増加している。
環境経済部長 ②可能な限り、実際の活動状況や身近な環境の中で測定した指数を活用することが熱中症の予防対策として有効であることから、今後、持ち運びのできるものも含めて簡易式計測器の導入を検討していきたい。
③特に、熱中症になりやすい高齢者向けの予防対策に有効なものと考えられることから、通常の利用者が優先されるが、開放が可能な場合にはクールシェアスポットとして活用することも検討したい。

その他のテーマ▶ 国民健康保険の「赤字削減・解消計画」について ▶ 国民健康保険税の減免について

ここに掲載していない一般質問の質問と答弁の概要は、ホームページでご覧いただけます。ホームページをご覧いただけない方は、FAXか郵送でお届けします。議会事務局にご連絡ください。

04-2953-1111 内線3313